

昭和36年

本邦鉱業の趨勢

MINING YEARBOOK OF JAPAN

1961

通商産業大臣官房調査統計部編

Compiled by
Research and Statistics Division
Minister's secretariat,
Ministry of International Trade and Industry

序

わが国経済は、34年以降急テンポの拡大をつづけており、36年は経済の高度成長を背景とする設備投資と、消費水準の向上を軸とする拡大基調にささえられて、35年にひきつづきいちじるしい発展をとげた。

このような経済情勢のなかにあつて、資源産業としてのわが国鉱業は、貿易自由化をひかえ多くの困難な問題をかかえながらも、順調に成長をつづけた。すなわち、金属鉱業、非金属鉱業においてはいずれもこれまでの最高生産実績をあげており、エネルギー関係を見ると、鉱業の大宗である石炭・亜炭は比較的低調な伸びであつたが、原油・天然ガスの開発が活発に行なわれて、前年にひきつづき躍進をしめしている。

また、金属鉱業と密接な関係にある非鉄金属製錬業は、鉱工業生産の拡大基調にささえられて、さらに進展した。

当部においては、わが国鉱業のすう勢をつぶさに把握できるように、毎年鉱業の各部門にわたって、あらゆる統計資料の収録につとめておりますが、昭和36年年間の調査結果がまとまったので、ここに本書を刊行致しました。

今後、よりよい統計資料にするためには、研究すべき点が多くあると思われまので、皆様のご批判、ご叱正を切にお願い致します。

昭和37年11月

通商産業大臣官房調査統計部長

藤原龍治

凡 例

- 1 本書は「本邦鉱業の趨勢調査」（調整統計報告）をはじめ、指定統計である「通商産業省生産動態統計調査」、「非鉄金属等需給動態統計調査」、「石炭等需給動態統計調査」および「石油製品需給動態統計調査」の集計結果を主体とし、関係諸統計を集録して昭和36年における本邦鉱業の概況ならびにその推移を記述したものであります。
- 2 「生産と需給」の項目には、特に英文を付してあります。
- 3 「輸出入」については、大蔵省税関部の日本外国貿易年表に、「世界主要国の生産」については、国連世界統計年鑑1962年版の資料によりました。
- 4 前記1および3の各統計調査以外の資料を掲載した場合にはそれらの資料の出所を明記してあります。
- 5 本書の統計編に用いた記号はつぎの通りです。
「0」単位未満のもの
「—」実績のないもの
「…」資料不詳のもの
- 9 企業名の法人の名称はつぎの略号をもって表示してあります。
(株) 株 式 会 社
(資) 合 資 会 社
(名) 合 名 会 社
(有) 有 限 会 社
(協) 協 同 組 合
- 7 統計数値の表示単位はメートル法により、つぎのような略号を用いてあります。
メートル—m センチメートル—cm 平方メートル—m²
グラム—g キログラム—kg 立方メートル—m³
リットル—l キロリットル—kl トン—t 分—min
アール—a キロワット時—kwh ボルトアンペア—VA
また千平方メートル、百万トンなどは10³m²、10⁶tというように表示してあります。
- 8 本書に掲載された統計を他に転載する場合は、必ず「昭和36年本邦鉱業の趨勢」による旨を明記して下さい。
- 9 本書の内容について質問照会の場合は、下記あて御連絡下さい。

東京都千代田区霞ヶ関3の1

通商産業大臣官房調査統計部鉱業統計調査室

電 話 東 京 581局 4441 (代)、 内 線 443~449

昭和36年本邦鉱業の趨勢

目次

序文	(a) 鉱業法改正.....55
凡例	(b) 鉱業法運用状況.....56
図表	第2節 石炭・亜炭鉱業
第1編 総論	1 石炭鉱業合理化施策.....56
第1章 昭和36年の一般経済情勢	(a) 石炭鉱業合理化臨時措置法の一部改正.....56
第2章 昭和36年の本邦鉱業の趨勢	(b) 石炭鉱業合理化臨時措置法の施行状況.....56
1 概説.....28	(1) 昭和36年度石炭鉱業合理化実施計画.....56
2 生産金額.....28	(2) 標準単価および目標生産費.....56
3 起業費.....33	(3) 坑口開設工事の許可.....56
第3章 鉱業施策の概要	(4) 非能率炭鉱の買収.....56
第1節 金属・非金属鉱業	(5) 合理化工事の状況.....56
1 貿易自由化と関税問題.....35	(6) 未開発炭田の開発.....57
2 地下資源開発審議会鉱山部会.....41	2 資金.....57
3 中小鉱業対策.....41	(a) 炭鉱近代化資金.....57
(a) 中小鉱業企業診断および技術指導.....41	(b) 日本開発銀行資金.....57
(b) 中小鉱業設備近代化補助金.....42	(c) 中小企業金融公庫資金.....58
(c) 中小鉱業の組織化.....45	(d) 炭鉱整備保証基金.....58
(d) 新鉱探査補助金.....45	3 炭鉱離職者対策の実施状況.....58
4 核原料物質.....46	4 中小炭鉱合理化指導.....58
(a) 探鉱計画.....46	5 鉱害対策.....58
(b) 探鉱費補助金.....47	(a) 臨時鉱害復旧法.....58
5 未利用鉄資源開発調査計画.....47	(b) 石炭鉱害対策審議会.....59
6 埋蔵鉱量統計調査.....48	(c) 鉱害復旧状況.....59
7 海外物資資源の開発.....49	(d) 鉱害測量と鉱害認定科学調査.....59
8 ECAFE会議.....50	(e) 鉱害賠償供託.....59
9 税法上の諸対策.....50	6 亜炭鉱業施策の概要.....59
(a) 国 税 関 係.....50	第3節 原油・天然ガス鉱業
(b) 地 方 税 関 係.....51	1 国内石油資源の開発.....59
10 接収貴金属の処理状況.....51	2 海外石油資源の開発.....60
11 経理の概況.....52	3 天然ガス資源の開発.....60
(a) 財 務 状 況.....52	4 新潟地区地盤沈下問題の経緯.....60
(b) 収 支 状 況.....53	第4節 石油精製業
(c) 借 入 金 状 況.....54	1 36年度石油外貨予算.....61
(d) 鉱業45社の設備投資実績.....55	2 36年度石油製品の需給および流通.....61
(e) 財 政 融 資.....55	3 36年度石油の輸出入動向.....62
12 輸送条件の改善(産業関連施設).....55	4 36年度の設備投資計画.....62
(a) 道 路.....55	第4章 鉱山保安
(b) 港 湾.....55	1 概 況.....64
13 国鉄運賃改訂に伴う調整措置.....55	(a) 施 策 概 要.....64
14 鉱業法関係.....55	(b) 災 害 状 況.....64
	2 金 属 鉱 山.....65

(a) 災害対策	65	(P) チタン鉱	101
(b) 災害状況	65	第2章 非金属鉱業	
3 非金属鉱山(石灰石鉱山を除く)	66	概況	102
(a) 災害対策	66	1 探鉱	102
(b) 災害状況	66	2 採鉱	102
4 石灰石鉱山	67	3 選鉱	103
(a) 災害対策	67	4 生産	104
(b) 災害状況	67	5 労務	104
5 石炭鉱山	68	6 資材	105
(a) 災害対策	68	7 品目別生産	106
(b) 災害状況	68	(a) いおう	106
6 亜炭鉱山	69	(b) ほたる石	106
(a) 災害対策	69	(c) 重晶石	106
(b) 災害状況	69	(d) 黒鉛	107
7 原油・天然ガス鉱山	69	(1) りん状黒鉛	107
(a) 災害対策	69	(2) 土状黒鉛	107
(b) 災害状況	70	(e) 石こう	107
第2編 各論		(f) 石綿	107
第1章 金属鉱業		(g) けい石	108
概況	71	(1) 炉材けい石	108
1 探鉱	71	(2) 白けい石	108
2 採鉱	72	(3) 軟けい石	108
3 選鉱	74	(h) けい砂	108
4 生産	75	(i) ろう石、ろう石クレー	109
5 労務	76	(j) 耐火粘土	109
6 資材	76	(k) ドロマイト	110
7 品目別生産	77	(1) 石灰石	111
(a) 金・銀鉱	77	第3章 非鉄金属製錬業	
(1) 金鉱	77	概況	112
(2) 銀鉱	79	1 生産	112
(3) 金・銀鉱の操業状況	80	2 製錬能力	113
(b) 銅鉱	80	3 価格	113
(c) 鉛・亜鉛鉱	83	4 品目別概況	114
(1) 鉛鉱	83	(a) 電気金	114
(2) 亜鉛鉱	85	(1) 生産	114
(d) 硫化鉱	87	(2) 需要	114
(e) すず鉱	93	(b) 電気銀	115
(f) アンチモン鉱	94	(1) 生産	115
(g) 水銀鉱	94	(2) 需要	116
(h) ひん	94	(c) 電気銅	116
(i) 鉄鉱	94	(1) 原料	116
(j) 砂鉄	95	① 国内鉱	116
(k) 硫酸焼鉱	98	② 海外鉱	118
(l) マンガン鉱	98	(2) 生産	119
(m) クロム鉄鉱	100	(3) 需要	120
(n) タングステン鉱	100	(4) 価格	120
(o) モリブデン鉱	100	(5) 製錬能力	121
		(6) 労務	122

(d) 鉛	122	1 石油鉱業	141
(1) 原料	122	2 天然ガス鉱業	142
① 国内鉱	122	第6章 石油精製業	
② 海外鉱	122	概況	144
(2) 生産	123	1 原油輸入	144
① 電気鉛	123	2 原油処理	144
② 再生鉛	124	3 石油製品の生産	144
(3) 需要	124	4 精製設備	145
① 電気鉛	124	5 石油製品の輸入	145
② 再生鉛	125	6 石油製品の販売	145
(4) 価格	125	第3編 統計	
(5) 製錬能力	125	I 鉱業出願と鉱区	
(6) 労務	126	A 鉱業出願	147
(e) 亜鉛	126	1 出願件数	147
(1) 原料	126	2 出願件数の推移	147
① 国内鉱	126	B 鉱区	148
② 海外鉱	127	1 鉱区数および面積	148
(2) 生産	127	2 国土に対する鉱区面積	152
(3) 需要	128	II 埋蔵量	
(4) 価格	129	A 埋蔵鉱量	153
(5) 製錬能力	130	1 金属鉱物	153
(6) 労務	130	2 非金属鉱業	153
(f) すず	130	B 石炭	154
(1) 生産	130	1 理論可採埋蔵炭量	154
(2) 需要	131	2 理論不可堀埋蔵炭量	156
(3) 価格	132	3 理論埋蔵炭量	157
(g) アンチモン	132	C 亜炭	156
(1) 生産	132	III 探鉱	
(2) 需要	133	A 金属鉱物	158
(3) 価格	133	1 地質調査、物理探鉱および地化学探鉱	158
(h) 水銀	133	(a) 総括	158
(1) 生産	133	(b) 大鉱業	162
(2) 需要	134	(c) 中・小鉱業	164
(3) 価格	134	2 誠錐および坑道	170
(i) ニッケル	135	(a) 総括	170
(1) 生産	135	(b) 大鉱業	174
(2) 需要	135	(c) 中・小鉱業	178
第4章 石炭・亜炭鉱業		B 非金属鉱物	
概況		1 地質調査、物理探鉱および地化学探鉱	
1 石炭鉱業	137	(a) 総括	182
(a) 生産	137	(b) 大鉱業	183
(b) 需給	138	(c) 中・小鉱業	184
(c) 輸入炭	138	2 誠錐および坑道	186
2 亜炭鉱業	139	(a) 総括	186
(a) 生産	139	(b) 大鉱業	190
(b) 産業別送炭状況	139	(c) 中・小鉱業	192
第5章 原油・天然ガス鉱業			
概況	141		

C 石炭	198
D 亜炭	198
IV 獲得 鋁 量	
A 金 属 鋁 物	200
(a) 総 括	200
(b) 大 鋁 業	200
(c) 中・小 鋁 業	200
B 非 金 属 鋁 物	
(a) 総 括	202
(b) 大 鋁 業	203
(c) 中・小 鋁 業	203
V 採 鋁	
A 金 属 鋁 物	204
1 坑 内 採 掘	204
(a) 脈 状 鋁 床	204
(b) 層 状 鋁 床	204
(c) 塊 状 鋁 床	204
2 坑 外 採 掘	204
(a) 脈 状 鋁 床	204
(d) 層 状 鋁 床	204
(c) 塊 状 鋁 床	205
(b) 砂 鋁 床	205
B 非 金 属 鋁 物	206
1 坑 内 採 掘	206
(a) 脈 状 鋁 床	206
(b) 層 状 鋁 床	206
(c) 塊 状 鋁 床	206
2 坑 外 採 掘	208
(a) 脈 状 鋁 床	208
(b) 層 状 鋁 床	208
(c) 塊 状 鋁 床	208
(d) 砂 鋁 床	208
C 石炭	209
D 亜炭	209
VI 維 持 坑 道	
A 金 属 鋁 物	210
B 非 金 属 鋁 物	212
C 石炭	215
D 亜炭	215

VII 生産と需給

Production Demant and Supply	
A 金属鋁物 Metallic Minerals	216
1 粗鋁月別生産 Monthly Production of Crude Ores	216
2 精鋁月別生産 Monthly Production of Concentrates	220
3 粗鋁府県別・局別生産 Production of Crude Ores by Prefecture and	

Bureau	224
4 精鋁府県別・局別生産 Production of Concentrates by Prefecture aud Bureau	236
5 大鋁業と中・小鋁業の精鋁生産割合 Production Ratio by Enterprises Scale	248
6 月別精鋁貯鋁 Stocks of Concentrates at the End of Month	254
B 非金属鋁物 Non-Metallic Minerals	256
1 月別生産 Monthly Production	256
2 府県別・局別生産 Production by Prefecture and Bureau	258
3 大鋁業と中・小鋁業の生産割合 Production Ratio by Enterprises Scale	264
4 月別貯鋁 Stocks at the End of Month	270
C 非鉄金属 Non-Ferrous Metals	272
1 月別生産 Monthly Production	272
2 製錬副産物月別生産 Monthly Production of By-Products of Smelter and Refinery	272
3 原料別生産内訳 Details of Metal Products	274
4 会社別生産 Production by Company	276
5 月別在庫 Stocks at the End of Month	280
D 雑非鉄金属 Miscellaneous Non-Ferrous	282
1 月別生産 Monthly Production	282
2 月別在庫 Stocks at the End of Month	282
E 再生非鉄金属 Remelted Non-Ferrous Metals	284
1 月別生産 Monthly Production	284
2 月別在庫 Stocks at the End of Month	284
F 非鉄金属の消費 Consumption of Non-Ferrous Metals	286
1 産業別消費 Consumption by Industry	286
2 金地金用途別消費 Consumption of Gold Metals by Users	288
3 産業別消費者在庫 Stocks by Consumers	290
G 非鉄金属需給総括 Demand and Supply of Non-Ferrous Metals	294
H 石炭、亜炭およびコークス Coal, Lignite and Cokes	302
1 石炭月別・炭田別生産 Monthly Production of Coal by Coal Field	302
2 亜炭月別・局別生産 Monthly Production of Lignite by Bureau	302
3 石炭産業別荷渡 Delivery of Coal by Industries	304

4 国内炭月別貯炭 Stocks of Domestic Coal at the End of Month	306
5 コークス月別・業態別生産 Monthly Production of Cokes by Industries	306
6 炭田別平均カロリー推移 Monthly Trends of Calory Classified Coal fieldsF	308
7 石炭需給総括 Summary of Coal Demand and Supply	308
I 原油、天然ガスおよび石油製品 Petroleum Natural Gas and Petroleum Products	310
1 原油月別・地域別生産 Monthly Production of Crude Oil by Prefecture	310
2 天然ガス月別・地域別生産 Monthly Production of Natural Gas by Prefecture	310
3 圧縮ガス月別・地域別生産 Monthly Production of Compressed Gas by Prefecture	312
4 液化ガス月別・地域生産 Monthly Production of Liquid Gas by Prefecture	312
5 石油製品月別生産 Monthly Production of Petroleum	314
6 石油製品地域別生産 Production of Petroleum Products by District	316
7 石油製品産業別(消費者向)販売 Sales of Petroleum Products by Industries (for Consumer)	318
8 石油製品需給総括 Summary of Demand and Supply of Petroleum Products	320
J アルミニウム月別生産 Monthly Production of Alminium	322
K 鉄鋼月別生産 Monthly Production of Iron and Steel	322
A 輸出数量および輸出価額	324
B 輸入数量および輸入価額	341

VIII 輸 出 入

IX 生産金額

A 生産品別生産金額	358
1 金 属 鋁 物	358
2 非 金 属 鋁 物	358
3 非 鉄 金 属	359
4 石炭、亜炭、原油および天然ガス	359
B 局別生産金額	360
1 金 属 鋁 物	360

2 非 金 属 鋁 物	360
3 非 鉄 金 属	362
4 石炭、亜炭、原油および天然ガス	362
C 生産額の推移	364
1 金 属 鋁 物	364
2 非 金 属 鋁 物	368
3 非 鉄 金 属	372
4 石炭、亜炭、原油、天然ガスおよび石油製品	376

X 生産金額の構成と生産原価の構成

A 生産金額の構成	378
1 金 属 鋁 物	378
2 非 金 属 鋁 物	378
3 非 鉄 金 属	380
4 石炭、亜炭、原油および天然ガス	380
B 生産費用の構成	382
1 金 属 鋁 物	382
2 非 金 属 鋁 物	382
3 非 鉄 金 属	384
4 石炭、亜炭、原油および天然ガス	384

XI 労 務

A 従業者数および労働延人員	386
1 金 属 鋁 山	386
2 非 金 属 鋁 山	386
3 製 錬 所	386
4 石炭・亜炭鋁山	388
5 石 油 鋁 山	388
6 製 油 所	389
B 給 与	388
1 金 属 鋁 山	388
2 非 金 属 鋁 山	388
3 製 錬 所	388
4 石炭・亜炭鋁山	388
5 石油鋁山および製油所	389

XII 資 材 と 原 料

A 金 属 鋁 山	390
B 非 金 属 鋁 山	394
C 製 錬 所	399
1 原 料 消 費	399
2 資 材	400
3 原 料 受 払	404
(a) 粗 銅	404
(1) 一 次 原 料	404
(2) 二 次 原 料	404
(b) 電 気 銅	405
(1) 一 次 原 料	405
(2) 二 次 原 料	405
(c) 粗 鉛	406

(1) 一次原料	406
(2) 二次原料	406
(d) 電気鉛	407
(1) 一次原料	407
(2) 二次原料	407
(e) 電気亜鉛	408
(1) 一次原料	408
(2) 二次原料	408
(f) 蒸りゆう亜鉛	408
(1) 一次原料	408
(2) 二次原料	409
(g) 粗すず	
(1) 一次原料	409
(h) 電気すず	409
(1) 一次原料	409
(i) アンチモン	409
D 石炭、亜炭鉱山および石油鉱山	410
XIII 燃料と動力	
A 金属鉱山	412
B 非金属鉱山	414
C 製錬所	416
D 石炭、亜炭鉱山および石油鉱山	418
XIV 設備	
A 金属鉱山(昭和36年12月31日現在)	
1 試験機	420
(a) 総括	420
(b) 大鉱業	420
(c) 中鉱業	420
(d) 小鉱業	420
2 さく岩機(ピツクハンマー、 ワゴンドリル等を含む)	420
(a) 総括	420
(b) 大鉱業	421
(c) 中鉱業	421
(d) 小鉱業	421
3 空気圧縮機	422
(a) 総括	422
(b) 大鉱業	426
(c) 中鉱業	428
(d) 小鉱業	432
4 巻揚機	436
(a) 総括	436
(b) 大鉱業	438
(c) 中鉱業	440
(d) 小鉱業	442
5 軌道	444
(a) 総括	444

(b) 大鉱業	444
(c) 中鉱業	444
(d) 小鉱業	444
6 積込機(ブルドーザー等を含む)	444
(a) 総括	444
(b) 大鉱業	445
(c) 中鉱業	446
(d) 小鉱業	447
7 車両(機関車、トラックを除く)	446
グラノー鉱車	
(a) 大鉱業	446
(b) 中鉱業	447
(c) 小鉱業	447
8 機関車	448
(a) 総括	448
(b) 大鉱業	448
(c) 中鉱業	448
(d) 小鉱業	448
9 トラック	448
10 架空索道等	449
(a) 総括	449
(b) 大鉱業	449
(c) 中鉱業	449
(d) 小鉱業	449
11 通気用扇風機	450
(a) 総括	450
(b) 大鉱業	450
(c) 中鉱業	451
(d) 小鉱業	451
12 ポンプ	452
(a) 総括	452
(b) 大鉱業	452
(c) 中鉱業	454
(d) 小鉱業	454
13 保安用機器	456
14 原動機	456
15 発電機	456
16 汽かん	457
17 受電用変圧器および契約電力	457
18 建物	456
19 選鉱設備	458
(a) 総合選鉱能力	458
(b) 規模別総合選鉱能力	458
B 非金属鉱山(昭和36年12月31日現在)	
1 試験機	460
(a) 総括	460
(b) 大鉱業	460
(c) 中鉱業	460

(d) 小鉱業	460
2 さく岩機(ピツクハンマー、 ワゴンドリル等を含む)	460
(a) 総括	460
(b) 大鉱業	461
(c) 中鉱業	461
(d) 小鉱業	461
3 空気圧縮機	462
(a) 総括	462
(b) 大鉱業	466
(c) 中鉱業	470
(d) 小鉱業	472
4 巻揚機	478
(a) 総括	478
(b) 大鉱業	480
(c) 中鉱業	482
(d) 小鉱業	483
5 軌道	484
(a) 総括	484
(b) 大鉱業	484
(c) 中鉱業	484
(d) 小鉱業	484
6 積込機(ブルドーザー等を含む)	484
(a) 総括	484
(b) 大鉱業	486
(c) 中鉱業	486
(d) 小鉱業	486
7 車両(機関車、トラックを除く)	488
グラノー鉱車	
(a) 大鉱業	488
(b) 中鉱業	488
(c) 小鉱業	488
8 機関車	490
(a) 総括	490
(b) 大鉱業	490
(c) 中鉱業	490
(d) 小鉱業	490
9 トラック	491
10 架空索道等	491
(a) 総括	491
(b) 大鉱業	491
(c) 中鉱業	492
(d) 小鉱業	492
11 通気用扇風機	492
(a) 総括	492
(b) 大鉱業	493
(c) 中鉱業	493
(d) 小鉱業	493

12 ポンプ	494
(a) 総括	494
(b) 大鉱業	494
(c) 中鉱業	496
(d) 小鉱業	496
13 保安用機器	498
14 原動機	498
15 巻電機	499
16 汽かん	499
17 受電用変圧器および契約電力	499
18 建物	498
19 選鉱設備	500
(a) 総合選鉱能力	500
(b) 規模別総合選鉱能力	500
C 製錬所(昭和36年12月31日現在)	504
1 一般設備	504
(a) 空気圧縮機	504
(b) 巻揚機	504
(c) 軌道	504
(d) 積込機(ブルドーザー等を含む)	504
(e) 車両(機関車、トラックを除く)	504
(f) 機関車	506
(g) トラック	506
(h) 架空索道等	507
(i) 通気用扇風機	507
(j) ポンプ	506
(k) 保安用機器	508
(l) 原動機	508
(m) 発電機	509
(n) 汽かん	509
(o) 受電用変圧器および契約電力	509
(p) 建物	509
2 製錬および精錬設備	510
(a) 金・銀および白金の製錬および精錬設備	510
(1) 総合製錬能力	510
(2) 事業所別製錬能力	510
(b) 銅の製錬および精錬設備	512
(1) 総合製錬能力	512
(2) 事業所別製錬能力	512
(c) 鉛の製錬および精錬設備	516
(1) 総合製錬能力	516
(2) 事業所別製錬能力	516
(d) 亜鉛の製錬および精錬設備	518
(1) 総合製錬能力	518
(2) 事業所別製錬能力	518
(e) すずの製錬および精錬設備	522
(1) 総合製錬能力	522
(2) 事業所別製錬能力	522

(f) アンチモンの製錬および精錬設備	524	5 パイプライン	538
(1) 総合製錬能力	524	6 タンク	538
(2) 事業所別製錬能力	524	7 トラック	538
(g) 水銀製錬および精錬設備	524	8 巻揚機およびその他の運搬設備	539
(1) 総合製錬能力	524	9 プラント	539
(2) 事業所別製錬能力	524	10 原動機	540
(h) ニッケル製錬および精錬設備	526	11 発電機	540
(1) 総合製錬能力	526	12 汽かん	540
(2) 事業所別製錬能力	526	13 受電用変圧器および契約電力	540
(i) チタン製錬設備	526	14 建物	540
(1) 総合製錬能力	526	G 天然ガス鉱山(昭和36年12月31日現在)	
(2) 事業所別製錬能力	526	1 さく井機	541
(j) いおう製錬設備	528	2 圧縮機(プラント用圧縮機を除く)	541
(1) 総合製錬能力	528	3 ポンプ	541
(2) 事業所別製錬能力	528	4 パイプライン	541
(k) 硫酸設備	528	5 タンク	542
D 石炭鉱山(昭和36年3月31日現在)		6 トラック	542
1 空気圧縮機	530	7 巻揚機およびその他の運搬設備	542
2 掘進機械	530	8 原動機	542
3 運搬設備	530	9 発電機	543
4 排水設備	532	10 汽かん	543
5 通気設備	532	11 受電用変圧器および契約電力	543
6 選炭設備	532	12 建物	543
(a) 設備および機械選炭処理量	532	H 製油所(昭和36年12月31日現在)	544
(b) 比重選炭機械処理能力別在籍台数	532	製油所設備調査の概要	544
7 採炭機	533	1 原油蒸りゆう装置	545
E 亜炭鉱山(昭和36年12月31日現在)		(a) 原油連続蒸りゆう能力総括表	545
1 空気圧縮機	534	(b) 原油蒸りゅう装置	546
2 さく岩機(オーガーを含む)	534	(1) 常圧蒸りゅう装置	546
3 坑外運搬設備(車両を除く)	534	(2) 結合蒸りゅう装置	547
(a) 機関車およびトラック	534	2 原料油再蒸りゅう装置	549
(b) その他の坑外運搬設備	534	(a) 原料油用蒸りゅう装置	549
4 坑内運搬設備	535	(b) 原料油単独再蒸りゅう装置	550
(a) 立坑巻揚機	535	3 高オクタン価揮発油製造装置	550
(b) 斜坑巻揚機	535	(a) 接触分解装置・熱分解装置	550
(c) 水平坑道運搬機	535	(b) 接触改質装置	551
5 炭車その他	535	4 溶剤精製装置	552
6 軌道	536	(a) 溶剤抽出装置・溶剤脱瀝装置	552
7 保安用機器	536	(b) 溶剤脱蠟装置	552
8 選炭設備	536	5 プレス脱蠟装置	553
9 ポンプ	536	6 コンタクトリラン	553
10 通気設備	537	7 揮発油連続洗滌装置	554
11 建物	537	8 灯・軽油水添脱硫装置	555
F 石油鉱山(昭和36年12月31日現在)		9 その他の装置	555
1 さく井機	537	10 製油所タンク	556
2 圧縮機(プラント用圧縮機を除く)	537	(a) 府県別	556
3 ポンプ	538	(b) 品種別	558
4 海洋掘さくバージ	538		

XV 鉱山災害

A 災害回数および死傷者数	560
B 事由別災害	562
1 金属・非金属鉱山	562
2 石灰石鉱山	563
3 石炭鉱山	564
4 亜炭鉱山	565
5 石油鉱山	566
C 重大災害	567
1 金属鉱山	567
2 非金属鉱山	567
3 石灰石鉱山	567
4 石炭鉱山	567
5 亜炭鉱山	567
6 石油鉱山	567
XVI 企業経営	
A 営業利益、起業投入額	568
1 業種別総括	568
2 金属鉱業	570
3 非金属鉱業	576
4 非鉄金属製錬業	588
5 石炭鉱業	590
6 亜炭鉱業	598
7 石油鉱業	600
8 石油精製業	604
B 事業内容、会社名簿	606
1 金属鉱業	606
2 非金属鉱業	612
3 非鉄金属製錬業	630
4 石炭鉱業	632
5 亜炭鉱業	642
6 石油鉱業	644

7 石油精製業	646
XVII 労働生産性、原単位および実収率	
A 金属鉱山および非金属鉱山の労働生産性	648
1 脈状鉱床	648
2 層状鉱床	648
3 塊状鉱床	648
4 露天鉱床	648
B 選鉱実収率	650
C 製錬実収率	651
D 金属鉱山および非金属鉱山の原単位	652
1 金属鉱山	652
2 非金属鉱山	652
E 石炭鉱山の労働生産性	653
F 石炭鉱山の原単位	652
G 製油所原単位	654
H 石油製品得率	654

XVIII 世界主要国の生産

XIX 経済指数

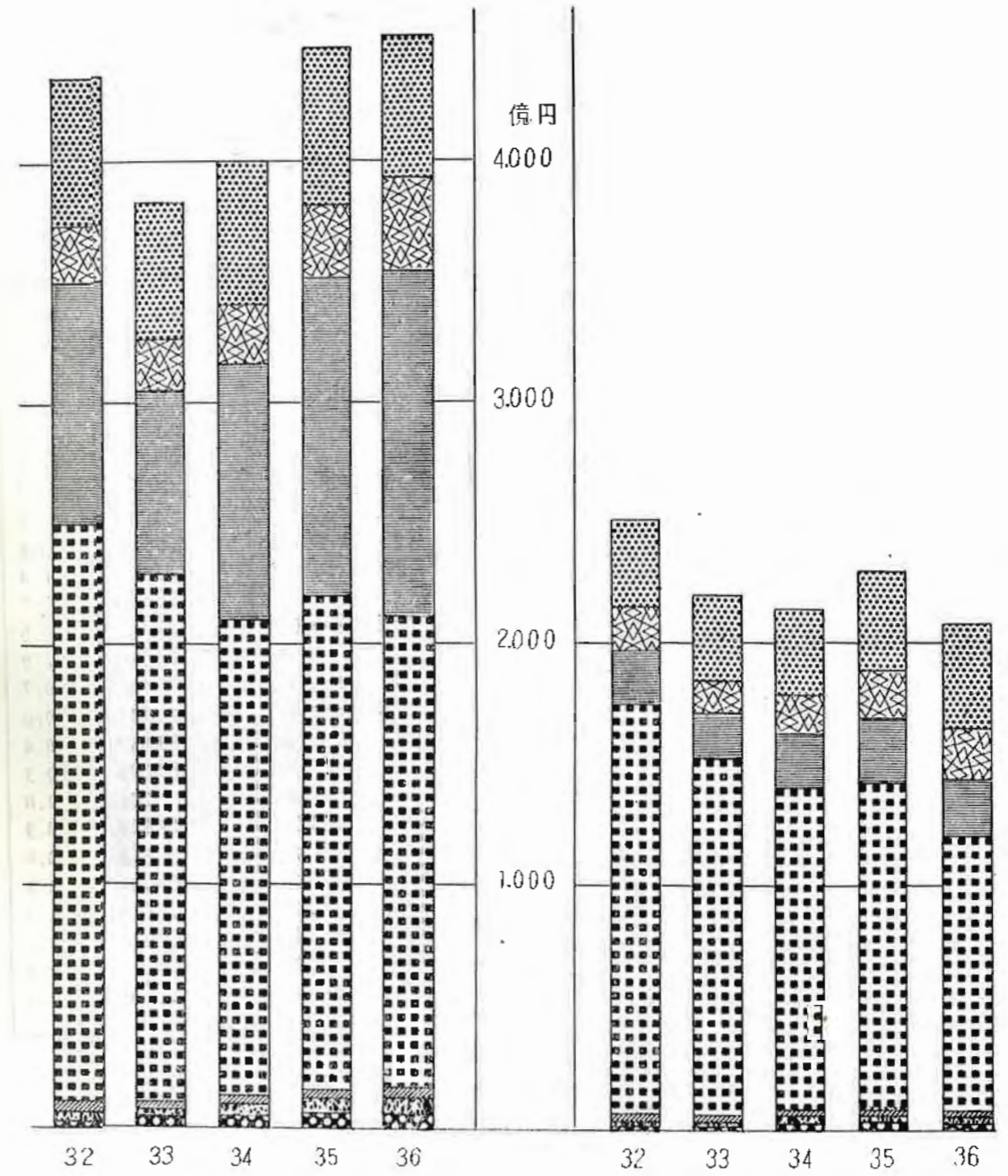
A 鉱工業生産・出荷・在庫指数	676
1 鉱工業生産指数	676
2 生産者出荷指数	678
3 生産者製品在庫指数	682
B 在庫指数	684
C 非鉄金属消費指数	684
D 物価指数(非鉄金属)	685
E 雇用指数	686
F 労働生産性指数	687
G 主要経済指数	688

XX 昭和36年経済日誌	692
--------------	-----

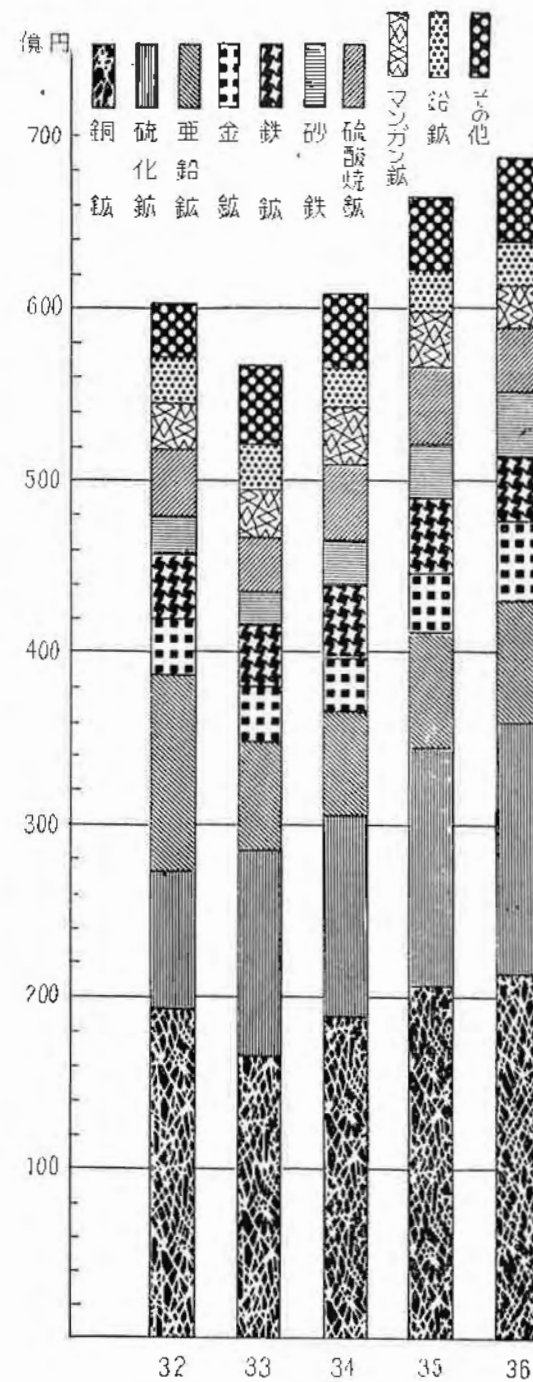
本邦鉱業の趨勢

生産金額 付加価値額

金属鉱物
 非金属鉱物
 非鉄金属
 石炭
 亜炭
 原油
 天然ガス



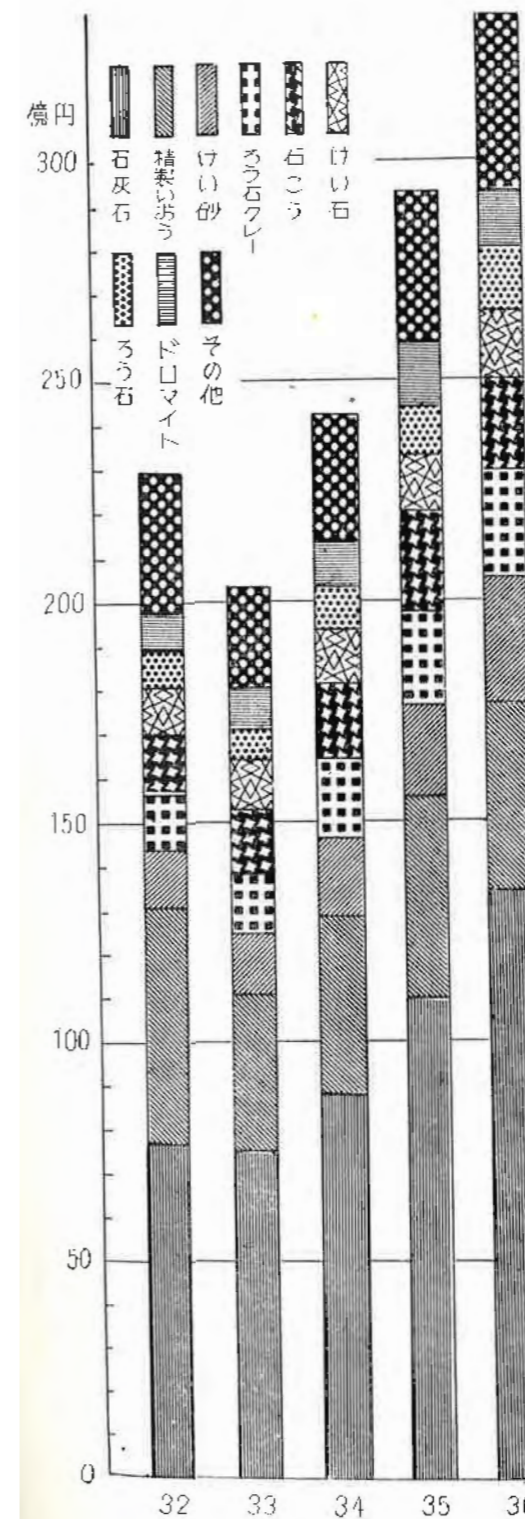
金属鉱物の生産金額推移



昭和36年の生産金額表

鉱種名	生産金額(千円)	比率(%)
合計	68,479,736	100.0
銅	21,380,756	31.2
硫化銅	14,827,045	21.7
重鉛	6,993,106	10.2
金	4,239,477	6.2
鉄	3,990,061	5.8
砂鉄	3,663,020	5.4
硫酸鉄	3,634,875	5.3
マンガン鉱(計)	2,733,704	4.0
金屈マンガン鉱	2,435,845	3.6
二酸化マンガン鉱	297,859	0.4
鉛	2,536,088	3.7
その他金属鉱物(計)	4,481,604	6.5
銀	1,906,288	2.8
すず	475,637	0.7
アンテモン	20,811	0.0
水銀	299,857	0.4
自然水銀	168,889	0.3
ヒ	2,266	0.0
クローム鉄鉱(計)	640,446	0.9
上	24,648	0.0
下	615,798	0.9
タンゲステン	491,045	0.7
モリブデン	434,822	0.6
チタン	38,167	0.1
ウラン	3,376	0.0

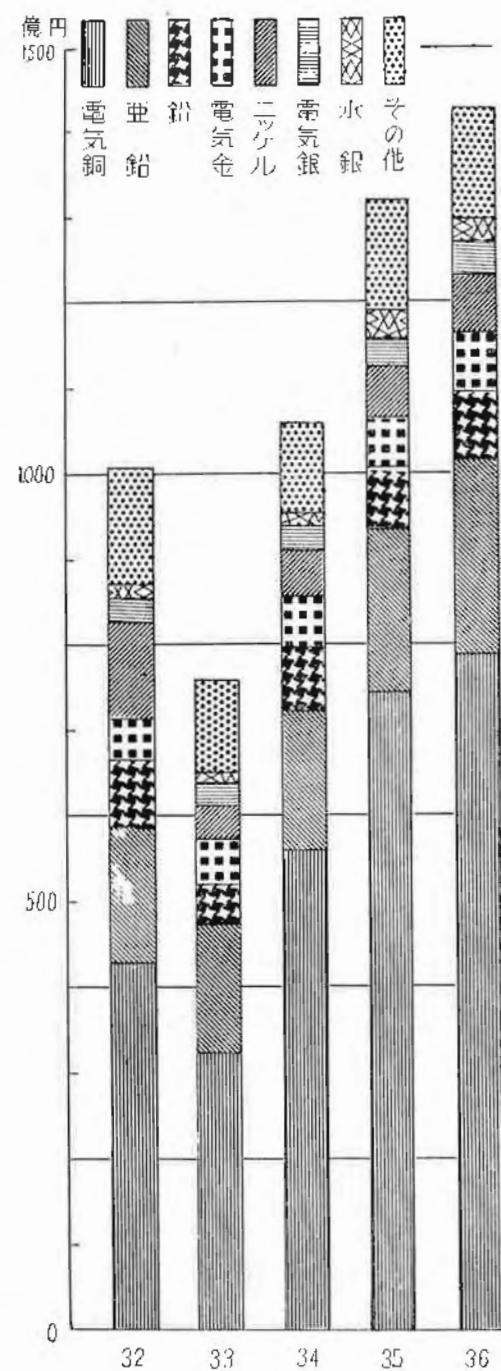
非金属鉱物の生産金額推移



昭和36年の生産金額

鉱種名	生産金額(千円)	比率(%)
合計	33,366,621	100.0
石灰石	13,426,189	40.2
精製いおう	4,401,240	13.2
けい砂	2,612,268	7.8
ろう石クレー	2,578,528	7.7
石ころ	2,073,676	6.2
けい石	1,575,478	4.7
ろう石	1,425,370	4.3
トロマイト	1,357,579	4.1
その他の非金属鉱物(計)	3,916,293	11.8
耐火粘土	1,134,192	3.4
珪日粘土(水ひ)	807,469	2.4
内 石綿	415,016	1.3
陶石	381,133	1.2
アプライト	273,098	0.8
長石	137,326	0.4
黒鉛	147,113	0.4
カオリン	125,876	0.4
滑石	131,657	0.4
重晶石	186,671	0.6
ダイアスポア	79,133	0.2
訳 ほたる石	91,586	0.3
さば	4,935	0.0
明ばん石	1,088	0.0

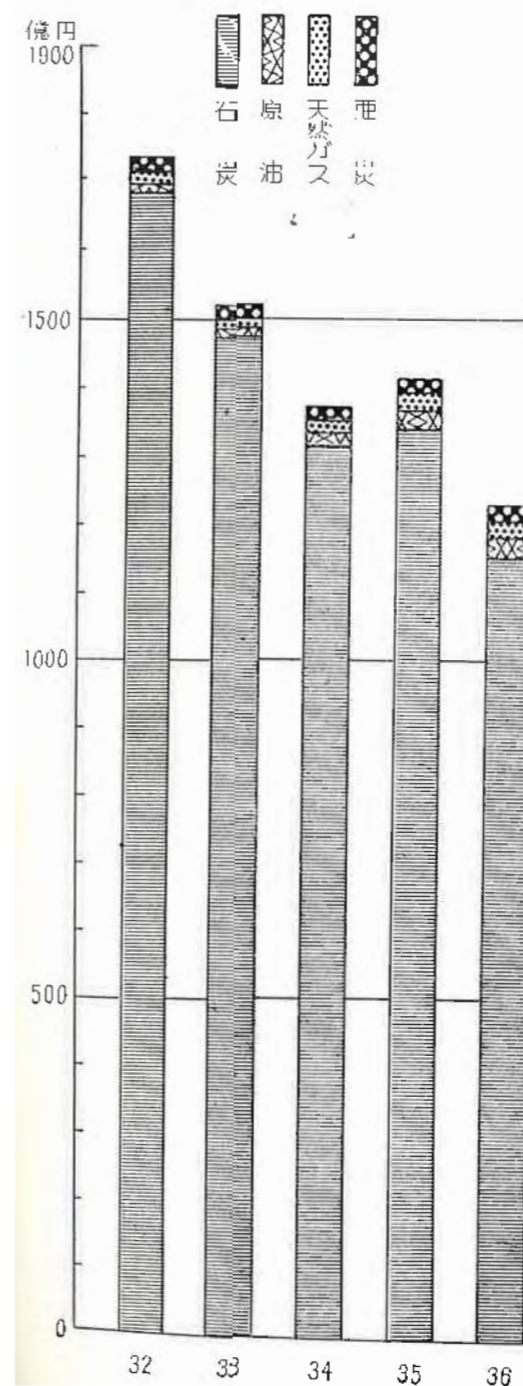
非鉄金属製練の生産金額推移



昭和36年の生産金額表

品 名	生産金額(千円)	比率(%)
合 計	143,205,238	100.0
電 気 銅	79,151,816	55.3
亜 鉛	22,189,182	15.5
鉛	8,085,503	5.6
電 気 金	3,664,576	4.6
ニ ッ ケ ル	6,027,419	4.2
電 気 銀	4,241,448	3.0
水 銀	2,382,796	1.7
その他の非鉄金属(計)	14,462,499	10.1
ブ ラ ン	2,065,040	1.5
硫 酸 銅	1,486,581	1.0
す ず	1,538,265	1.1
亜 鉛 末	1,062,497	0.7
硫 酸 亜 鉛	687,116	0.5
カ ド ミ ウ ム	913,739	0.6
アンチモン(計)	867,515	0.6
ア ン チ モ ン	573,119	0.4
酸化アンチモン	294,396	0.2
セ レ ニ ウ ム	660,020	0.5
二硫化マンガン	987,354	0.7
そ う 鉛	377,403	0.3
亜 び 酸	51,165	0.0
白 金	66,212	0.0
そ の 他	3,099,592	2.6

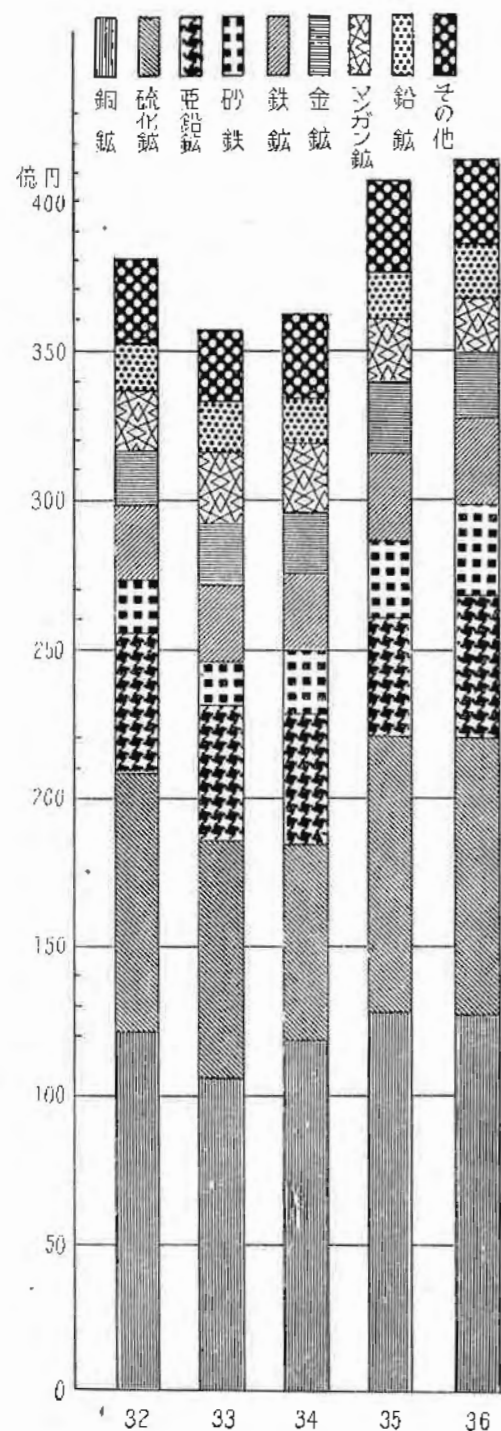
石炭、亜炭原油および天然ガスの付加価値額推移



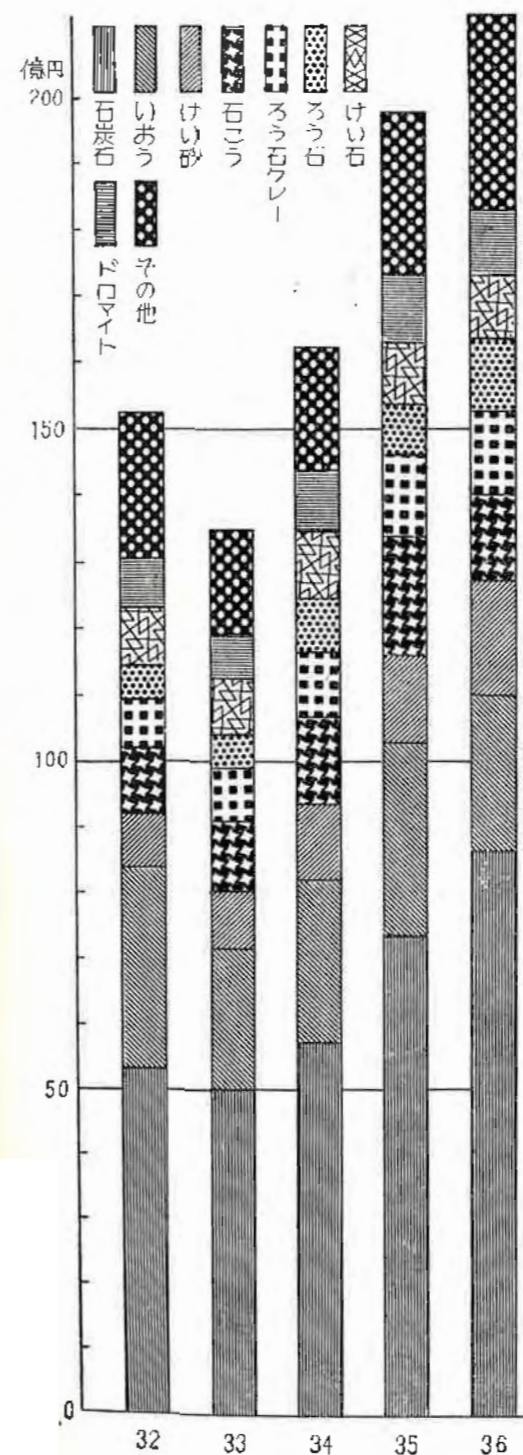
昭和36年の付加価値額表

品 名	付加価値額(千円)	比率(%)
合 計	121,101,419	100.0
石 炭	114,237,368	94.3
原 油	2,908,893	2.4
天 然 ガ ス	2,206,579	1.8
亜 炭	1,748,079	1.5

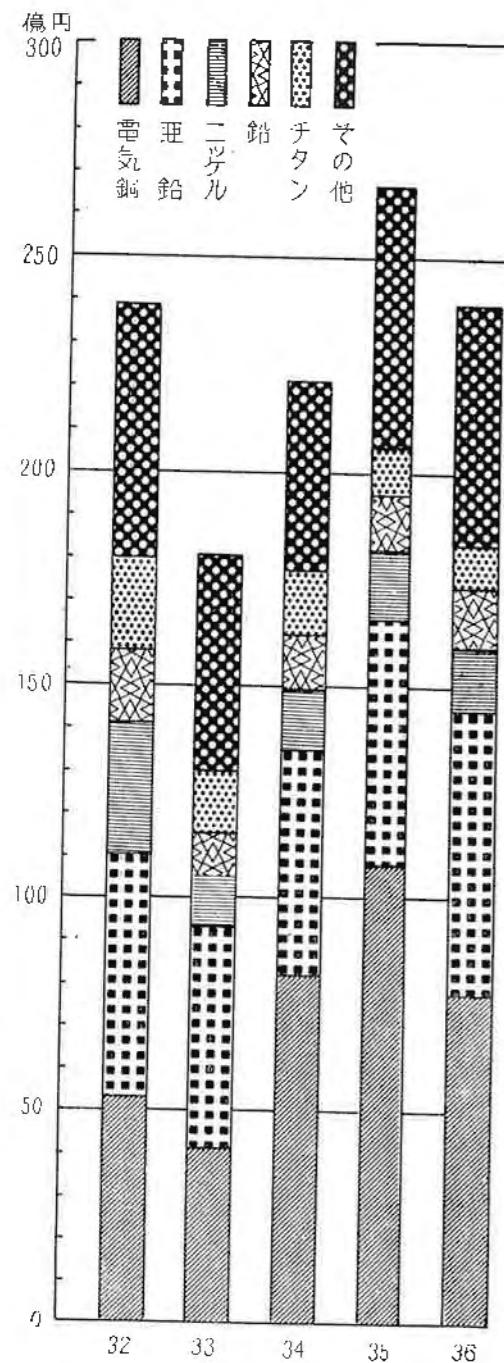
金属鉱物の付加価値額推移



非金属鉱物の付加価値額推移



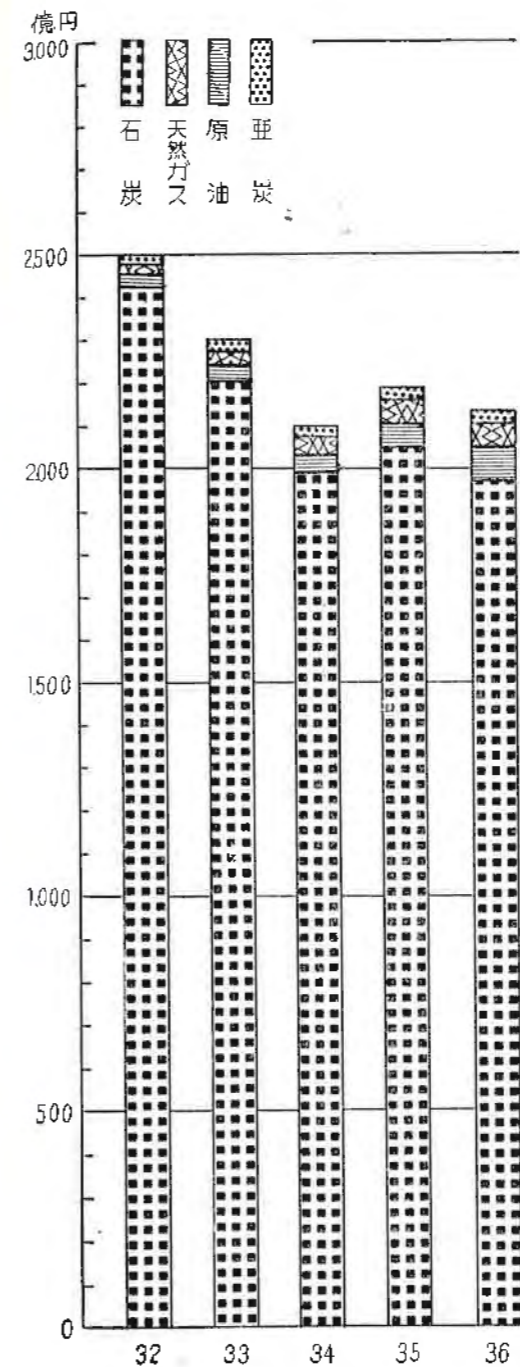
非鉄金属製錬の付加価値額推移



昭和36年の付加価値額表

品名	付加価値額(千円)	比率(%)
合計	24,025,603	100.0
電気銅	7,745,002	32.2
亜鉛	6,623,672	27.6
ニッケル	1,568,977	6.5
鉛	1,396,808	5.8
チタン	975,965	4.1
その他の非鉄金属(計)	5,715,179	23.8
電気金	651,180	2.7
電気銀	867,774	3.6
水銀	122,100	0.5
すず	164,084	0.7
電解二酸化マンガン	506,310	2.1
アンチモン	150,061	0.6
その他	3,253,670	13.6

石炭、亜炭、原油および天然ガスの生産金額推移



昭和36年の生産金額表

品名	生産金額(千円)	比率(%)
合計	213,344,180	100.0
石炭	198,693,466	93.1
天然ガス	6,381,611	3.0
原油	5,846,075	2.8
亜炭	2,423,028	1.1